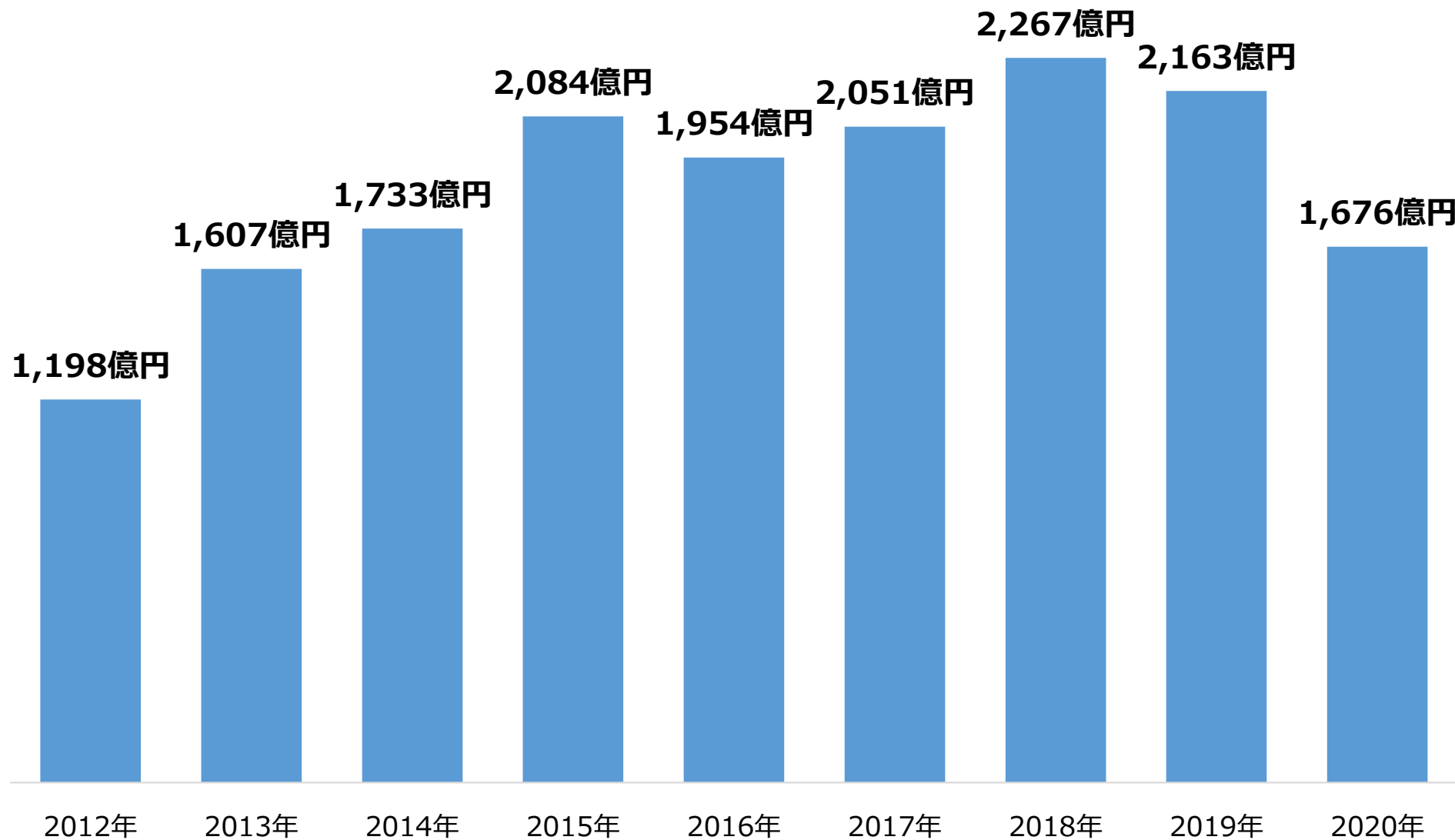


水産物（調製品除く）の輸出額の推移



財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

水産物（調製品除く）の内訳

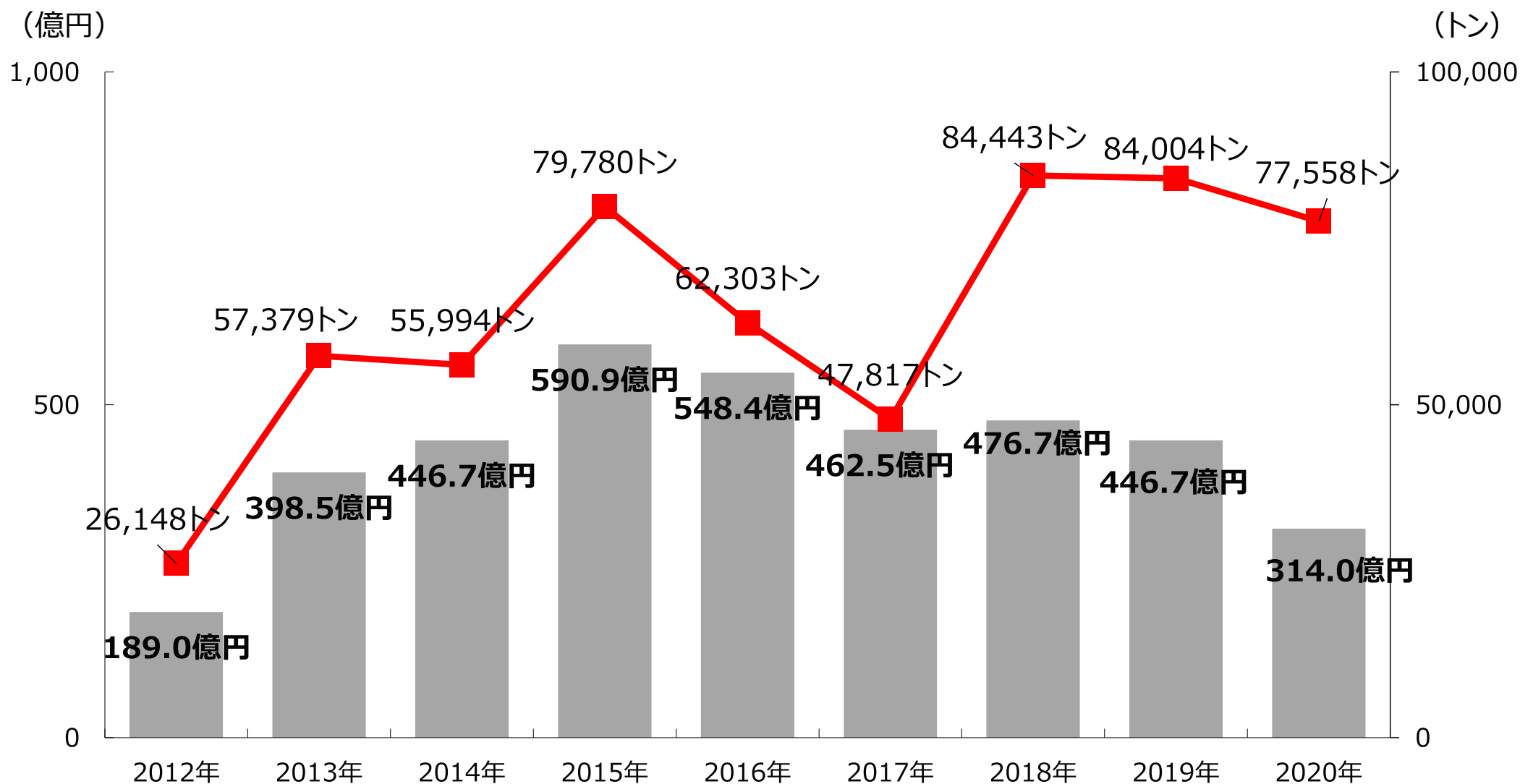


品目名	2019年	2020年	前年比	構成比
ホタテ貝（生鮮・冷蔵・冷凍）	447億円	314億円	▲ 29.6%	18.8%
さば	206億円	204億円	▲ 0.8%	12.2%
かつお・まぐろ類	153億円	204億円	+ 33.6%	12.2%
ぶり	229億円	173億円	▲ 24.7%	10.3%
いわし	80億円	77億円	▲ 3.2%	4.6%
真珠（天然・養殖）	329億円	76億円	▲ 76.9%	4.5%
魚油	49億円	52億円	+ 6.2%	3.1%
観賞用魚（金魚除く）	47億円	49億円	+ 3.5%	2.9%
さけ・ます	42億円	39億円	▲ 6.9%	2.3%
たい	35億円	38億円	+ 6.9%	2.3%
さんご	48億円	35億円	▲ 26.6%	2.1%
食用海藻	32億円	32億円	+ 0.3%	1.9%
なまこ	41億円	23億円	▲ 42.6%	1.4%
その他	425億円	358億円	▲ 15.7%	21.4%
水産物（調製品除く） 計	2,163億円	1,676億円	▲ 22.5%	100.0%

注：四捨五入の関係で内訳の計と合計が一致しないことがある。

財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

ホタテ貝（生鮮・冷蔵・冷凍）の輸出実績（2012～2020年）



財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

ホタテ貝（活・生鮮・冷房・冷凍・塩蔵・乾燥）の国・地域別内訳 2020年

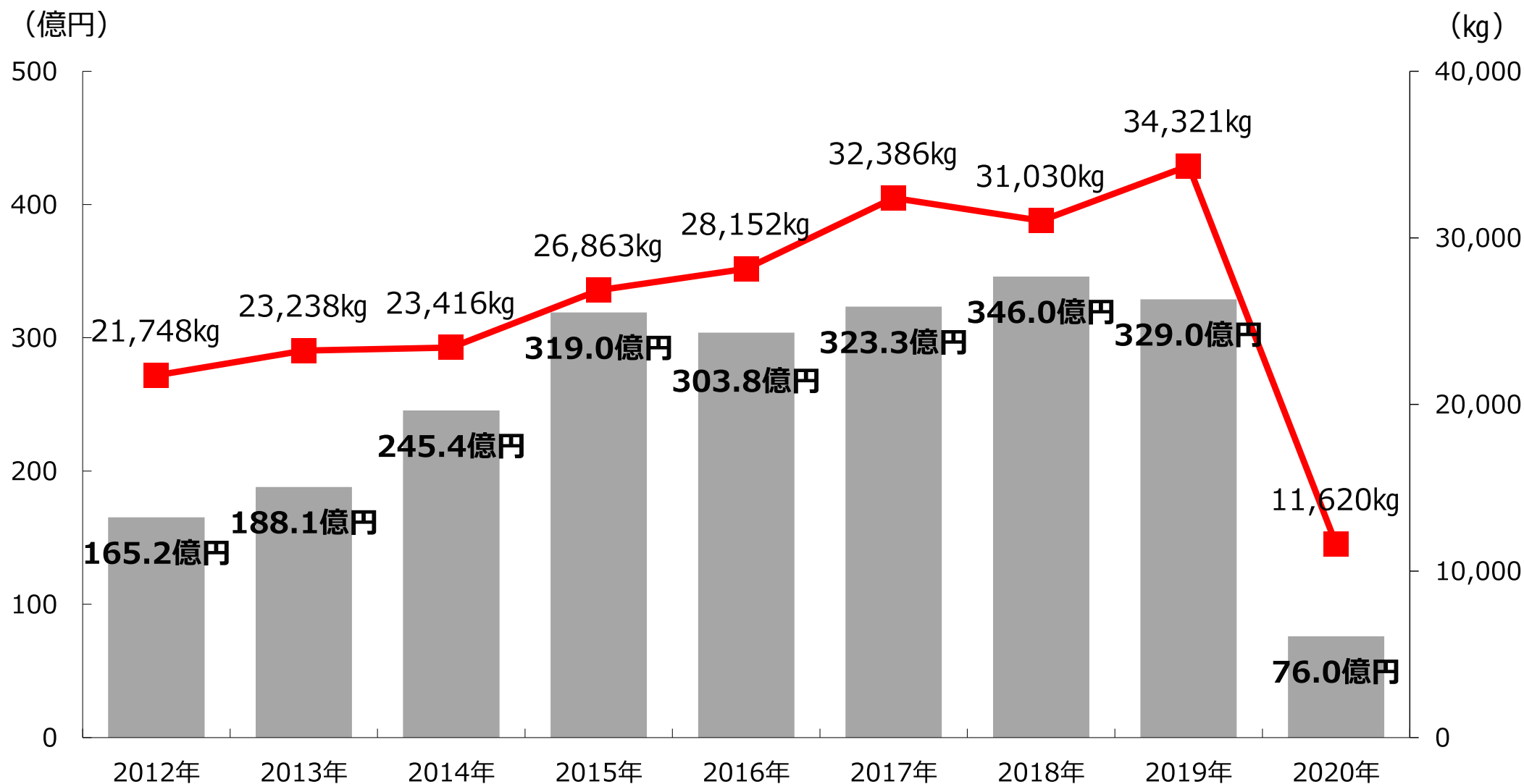
主な輸出先は、殻剥き加工が行われている中国向けのほか、外食需要のある東アジア、米国等。
2020年は、国内の水揚げは順調であったものの、原貝の小型化や新型コロナウイルス感染症の影響で国内外の外食需要が落ち込んだことにより単価が下落し、輸出額が減少。

	国 名	輸出額（量）	輸出額 前年比	輸出額 構成比
1	中華人民共和国	145.6億円（60,622トン）	▲45.7%	46.4%
2	台湾	56.9億円（2,500トン）	6.4%	18.1%
3	大韓民国	32.3億円（9,062トン）	15.4%	10.3%
4	香港	30.9億円（2,881トン）	▲4.4%	9.8%
5	アメリカ合衆国	15.9億円（681トン）	▲30.2%	5.1%
-	その他	32.2億円（1,812トン）	▲23.0%	10.3%
参考	E U（28国）	15.6億円（684トン）	4.1%	5.0%
-	世界	314.0億円（77,558トン）	▲29.7%	100.0%

注：四捨五入の関係で内訳の計と合計が一致しないことがある。EUの数値については外数。

財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

真珠（天然・養殖）の輸出実績（2012～2020年）



財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

真珠の国・地域別内訳 2020年



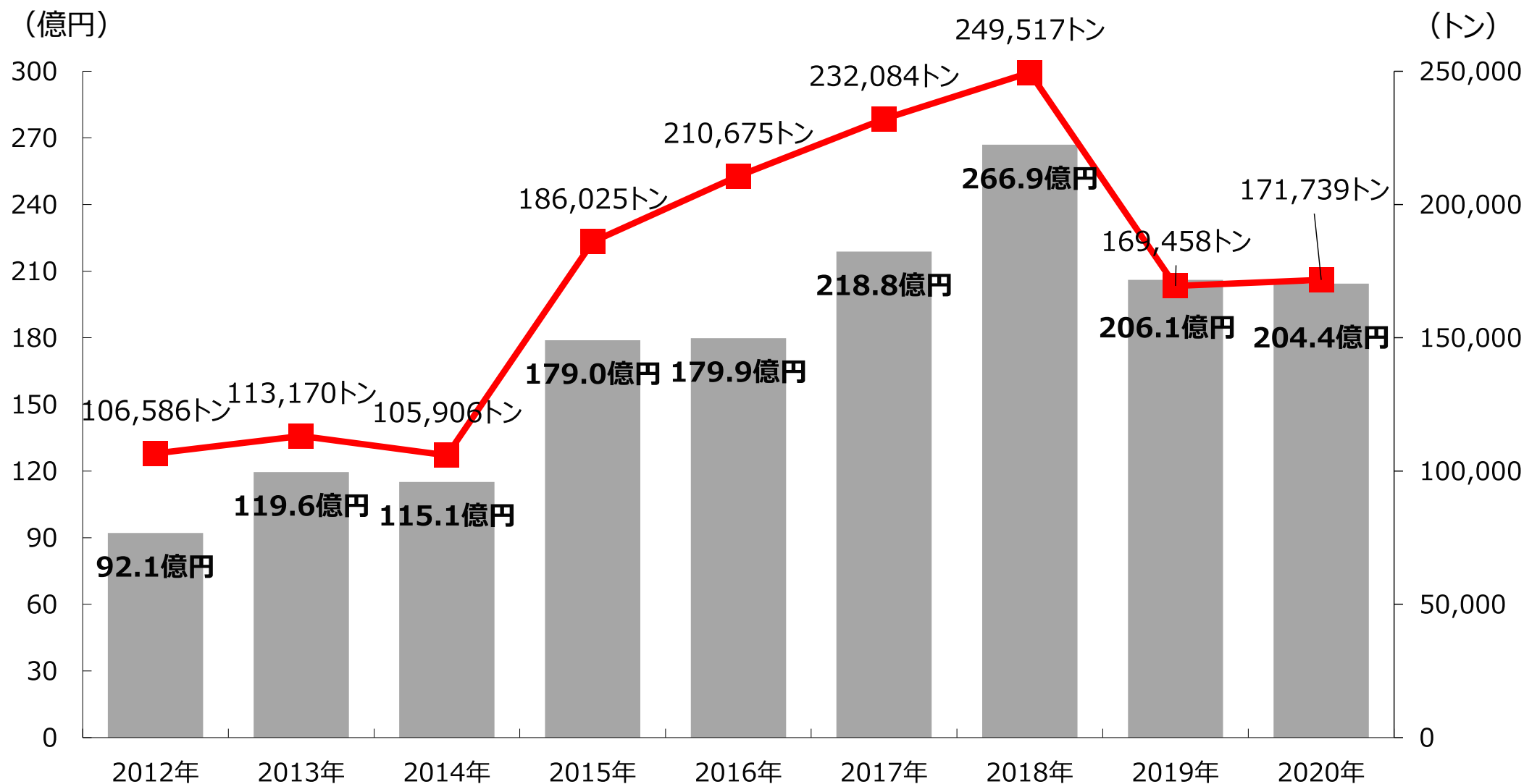
中国の富裕層向けの需要が高く、経由地となる香港向けが輸出額全体の約 8 割を占めている。

	国 名	輸出額 (量)	輸出額 前年比	輸出額 構成比
1	香港	46.5億円 (8,605kg)	▲83.7%	61.1%
2	アメリカ合衆国	12.7億円 (1,019kg)	▲27.4%	16.7%
3	タイ	4.8億円 (687kg)	12.8%	6.3%
4	中華人民共和国	3.9億円 (169kg)	▲50.2%	5.1%
5	イタリア	1.9億円 (201kg)	▲43.4%	2.5%
-	その他	6.3億円 (938kg)	▲43.1%	8.3%
参考	E U (2 8 国)	4.3億円 (455kg)	▲36.8%	5.7%
-	世界	76.0億円 (11,620kg)	▲76.9%	100.0%

注：四捨五入の関係で内訳の計と合計が一致しないことがある。EUの数値については外数。

財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

さばの輸出実績（2012～2020年）



財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

さばの国・地域別内訳 2020年



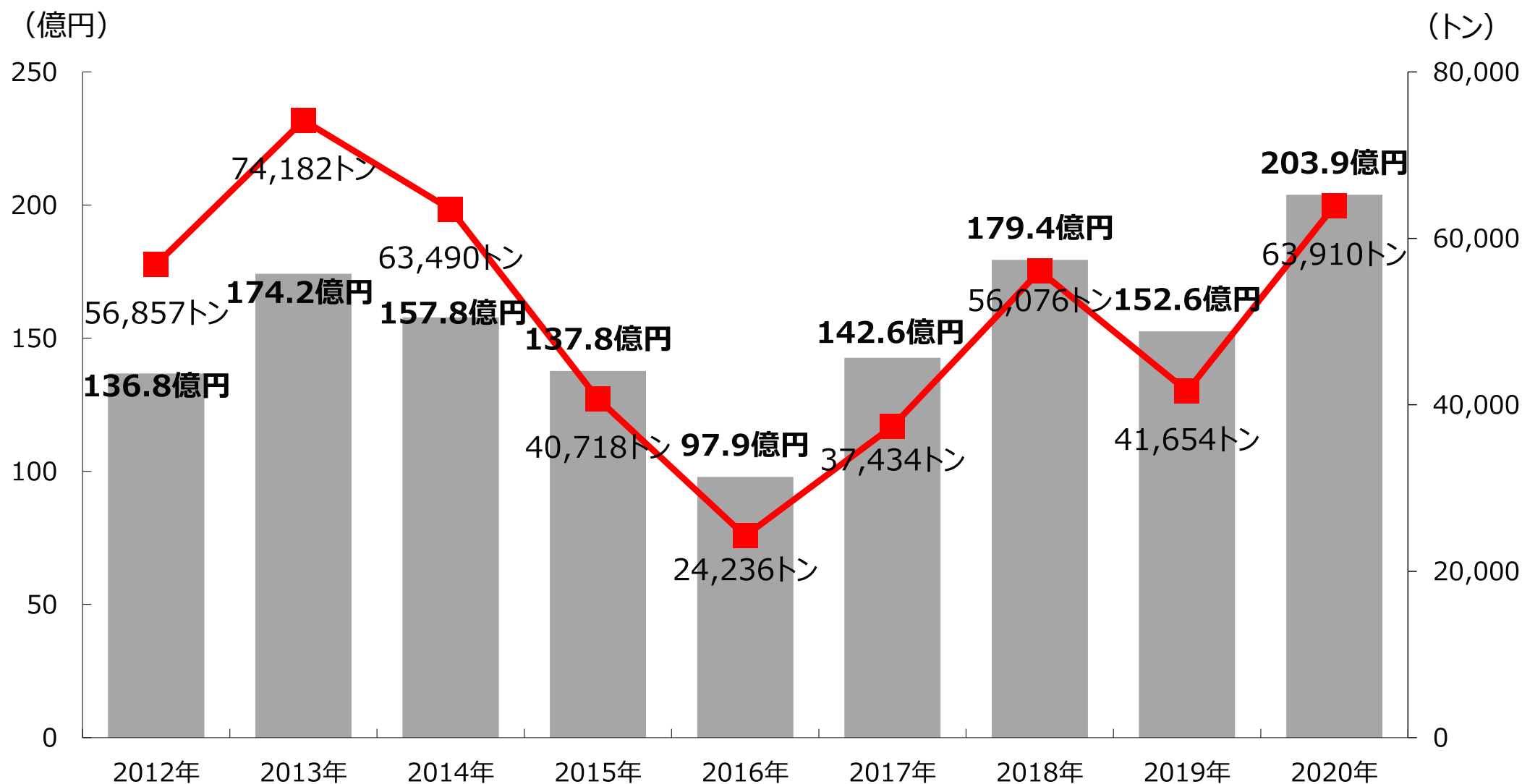
主な輸出先は、加工用原料や現地消費用として輸入している東南アジアや、重要なタンパク源として現地で消費されているアフリカ。2020年は、近年の主要輸出先であったナイジェリア向けが落ち込む一方、加工用の輸出が近年増加しているベトナム向けが引き続き増加するなどした結果、輸出額はほぼ前年同。

	国 名	輸出額（量）	輸出額 前年比	輸出額 構成比
1	ベトナム	59.9億円（47,155トン）	17.7%	29.3%
2	タイ	30.7億円（28,429トン）	▲13.4%	15.0%
3	エジプト	24.8億円（20,480トン）	▲14.0%	12.2%
4	ナイジェリア	20.0億円（15,732トン）	▲65.9%	9.8%
5	ガーナ	14.6億円（12,537トン）	102.3%	7.1%
-	その他	54.5億円（47,405トン）	116.8%	26.7%
-	世界	204.4億円（171,739トン）	▲0.8%	100.0%

注：四捨五入の関係で内訳の計と合計が一致しないことがある。EUの数値については外数。

財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

かつお・まぐろ類の輸出実績（2012～2020年）



財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

かつお・まぐろ類の国・地域別内訳 2020年



主な輸出先は、ツナ缶の原料として各国から冷凍のかつおやびんながを輸入している東南アジア。香港や中国には外食需要のある生鮮のまぐろ類が多く輸出されている。

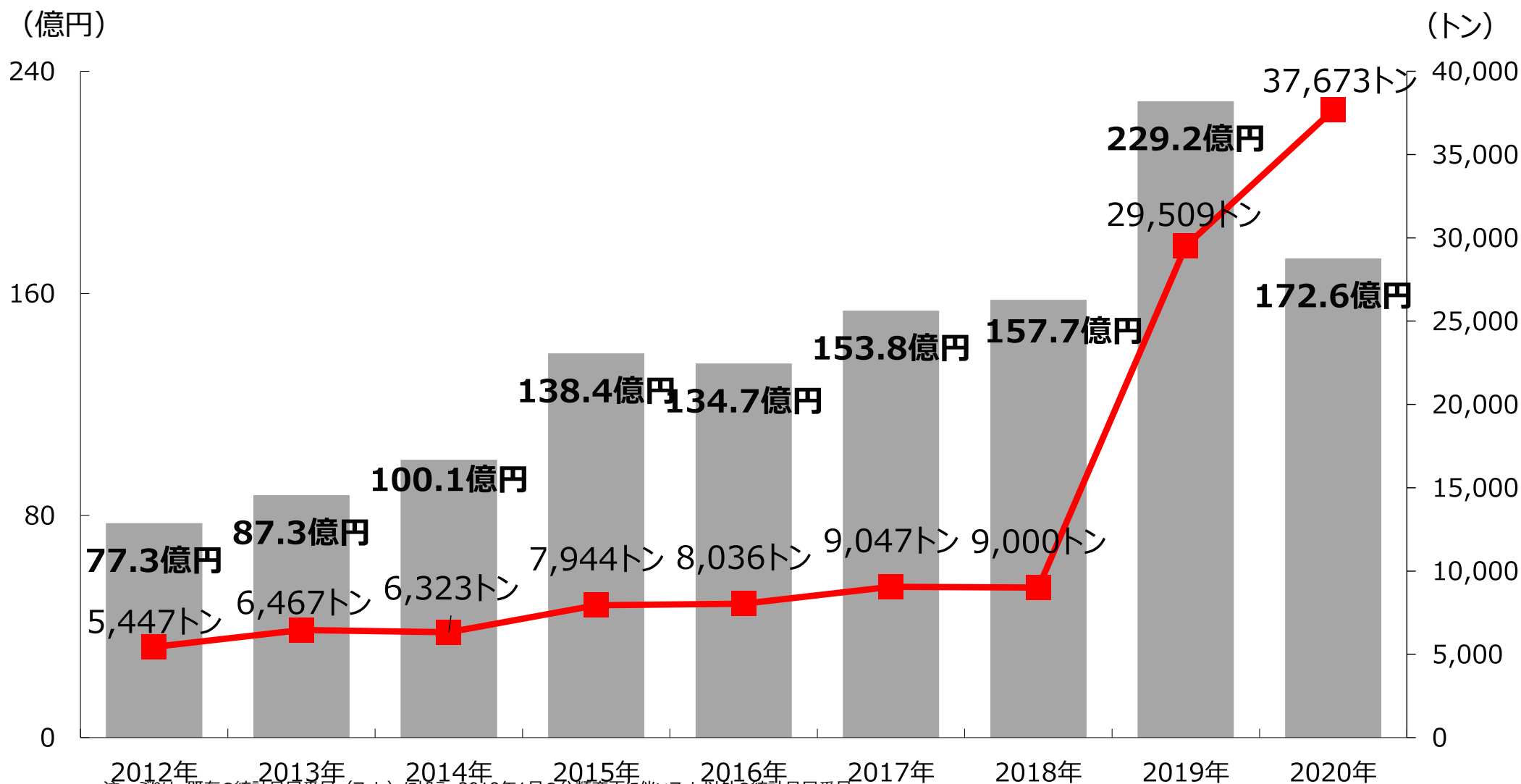
2020年は、日本近海でびんなががまとまって漁獲されたことから、東南アジア向けに多く輸出され、輸出額が増加。

	国 名	輸出額（量）	輸出額 前年比	輸出額 構成比
1	タイ	95.8億円（41,763トン）	55.4%	47.0%
2	ベトナム	37.9億円（11,125トン）	112.9%	18.6%
3	香港	16.0億円（306トン）	15.7%	7.8%
4	中華人民共和国	10.5億円（376トン）	▲29.9%	5.2%
5	インドネシア	7.1億円（4,679トン）	192.3%	3.5%
-	その他	36.6億円（5,662トン）	▲12.7%	18.0%
参考	E U（28国）	7.0億円（996トン）	19.9%	3.5%
-	世界	203.9億円（63,910トン）	33.6%	100.0%

注：四捨五入の関係で内訳の計と合計が一致しないことがある。EUの数値については外数。

財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

ぶりの輸出実績（2012～2020年）



注：ぶりは、既存の統計品目番号（ファイル）に加え、2019年1月の分類変更に伴いファイル以外の統計品目番号（ラウンド等）が新たに追加されたため、前年との単純比較はできない。

財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

ぶりの国・地域別内訳 2020年



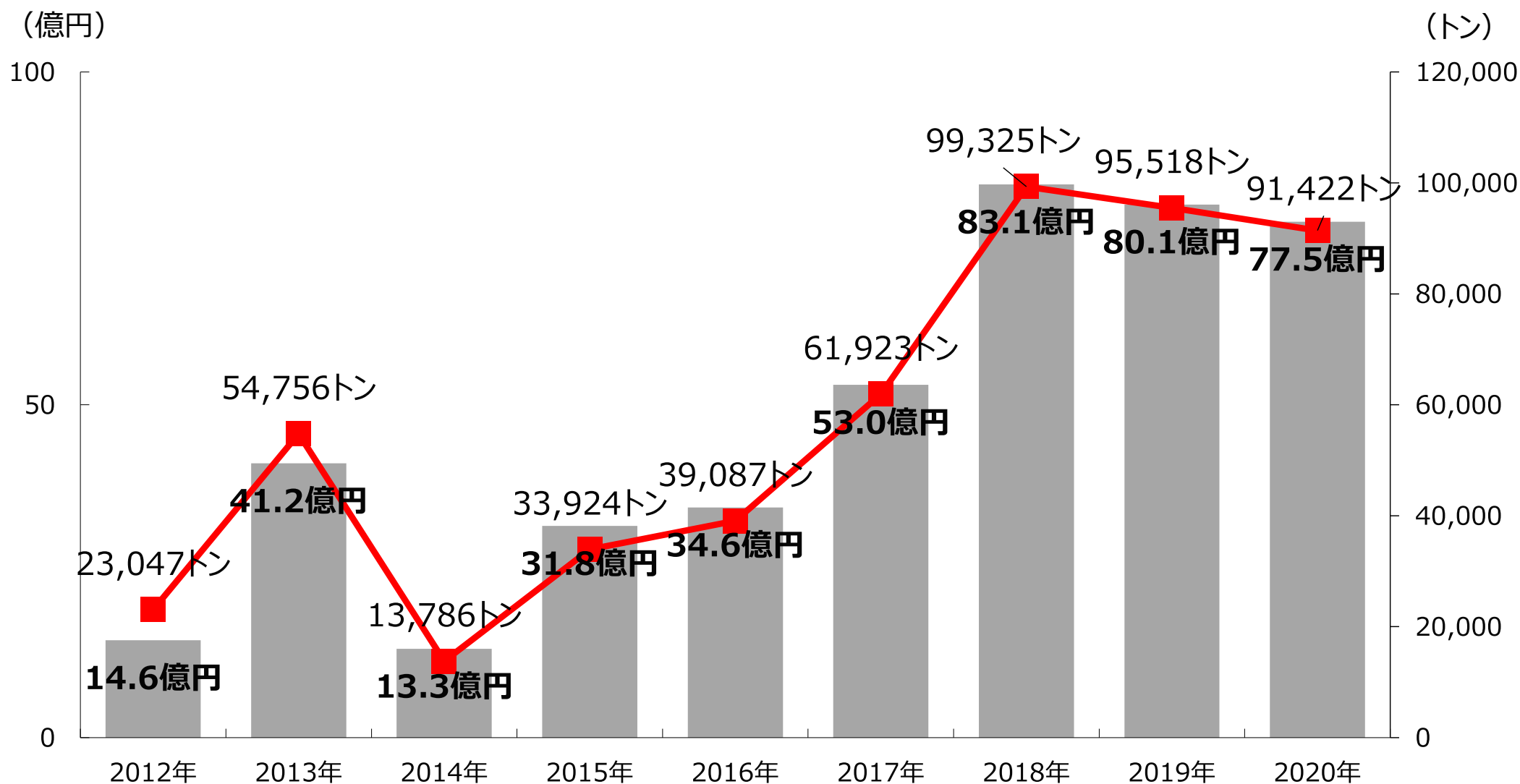
輸出額は、年々増加傾向で推移。米国向けが輸出額全体の約 8 割を占めている。

	国 名	輸出額 (量)	輸出額 前年比	輸出額 構成比
1	アメリカ合衆国	95.9億円 (5,600トン)	▲39.8%	55.5%
2	ベトナム	27.5億円 (17,910トン)	60.0%	15.9%
3	中華人民共和国	12.4億円 (6,066トン)	▲4.7%	7.2%
4	香港	11.5億円 (676トン)	0.8%	6.6%
5	タイ	4.4億円 (1,018トン)	▲16.8%	2.5%
-	その他	21.1億円 (6,403トン)	▲8.9%	12.2%
参考	E U (2 8 国)	3.4億円 (209トン)	▲18.8%	2.0%
-	世界	172.6億円 (37,673トン)	▲24.7%	100.0%

注：四捨五入の関係で内訳の計と合計が一致しないことがある。EUの数値については外数。

財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

いわしの輸出実績（2012～2020年）



財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

いわしの国・地域別内訳 2020年

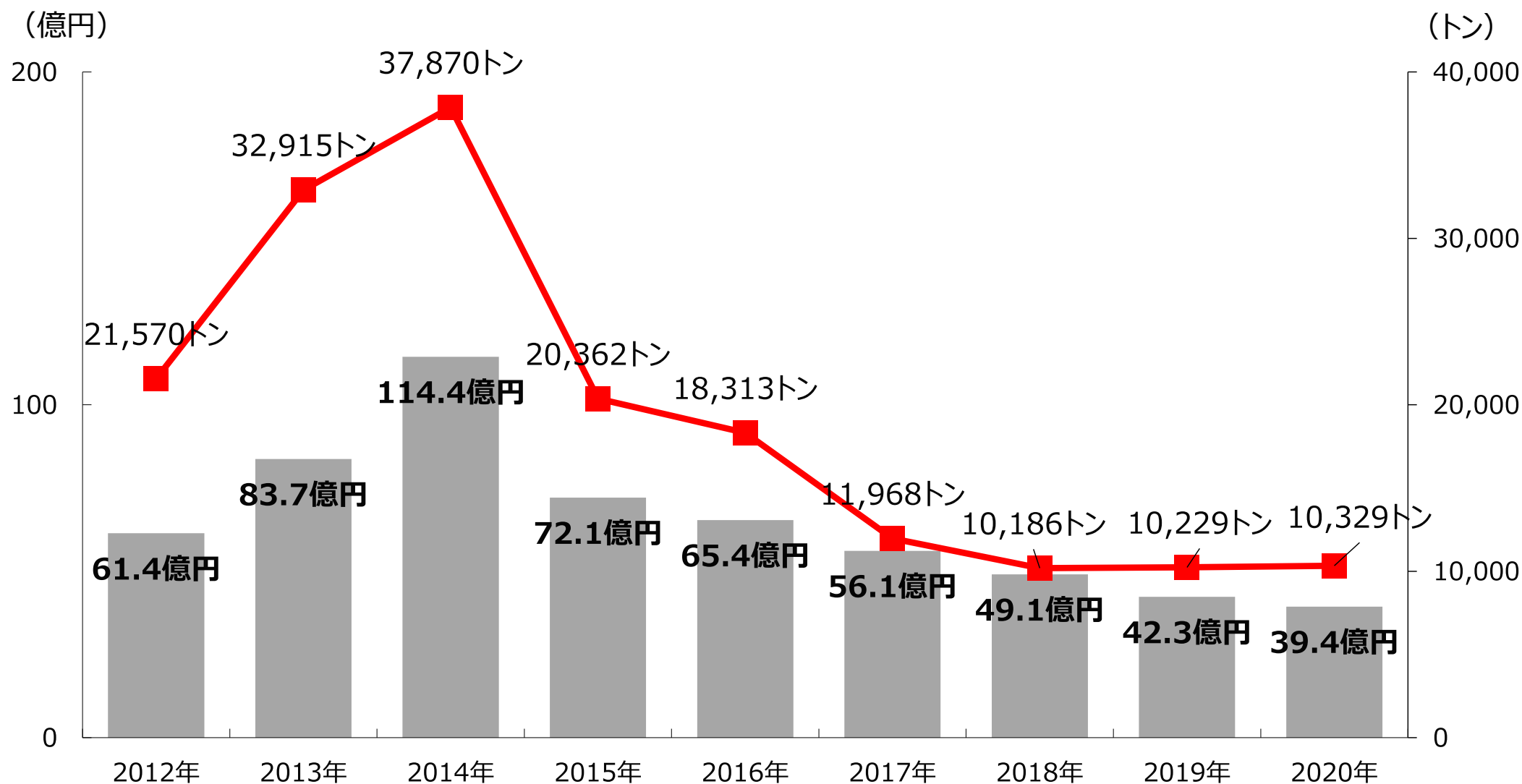
主な輸出先は、加工用原料として輸入している東南アジアなど。
2020年は、国内での水揚げはまとまっていたものの、魚体が小さくミールに仕向けられるものが多かったことなどから輸出額は伸びず、輸出額はほぼ前年同。

	国 名	輸出額（量）	輸出額 前年比	輸出額 構成比
1	タイ	32.0億円（48,514トン）	▲8.5%	41.3%
2	モーリシャス	8.5億円（6,386トン）	2.0%	11.0%
3	ベトナム	7.1億円（8,663トン）	30.8%	9.1%
4	マレーシア	6.3億円（7,889トン）	64.1%	8.1%
5	台湾	3.5億円（2,811トン）	86.1%	4.5%
-	その他	20.1億円（17,160トン）	▲21.6%	25.9%
-	世界	77.5億円（91,422トン）	▲3.2%	100.0%

注：四捨五入の関係で内訳の計と合計が一致しないことがある。EUの数値については外数。

財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

さけ・ますの輸出実績（2012～2020年）



財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

さけ・ますの国・地域別内訳 2020年



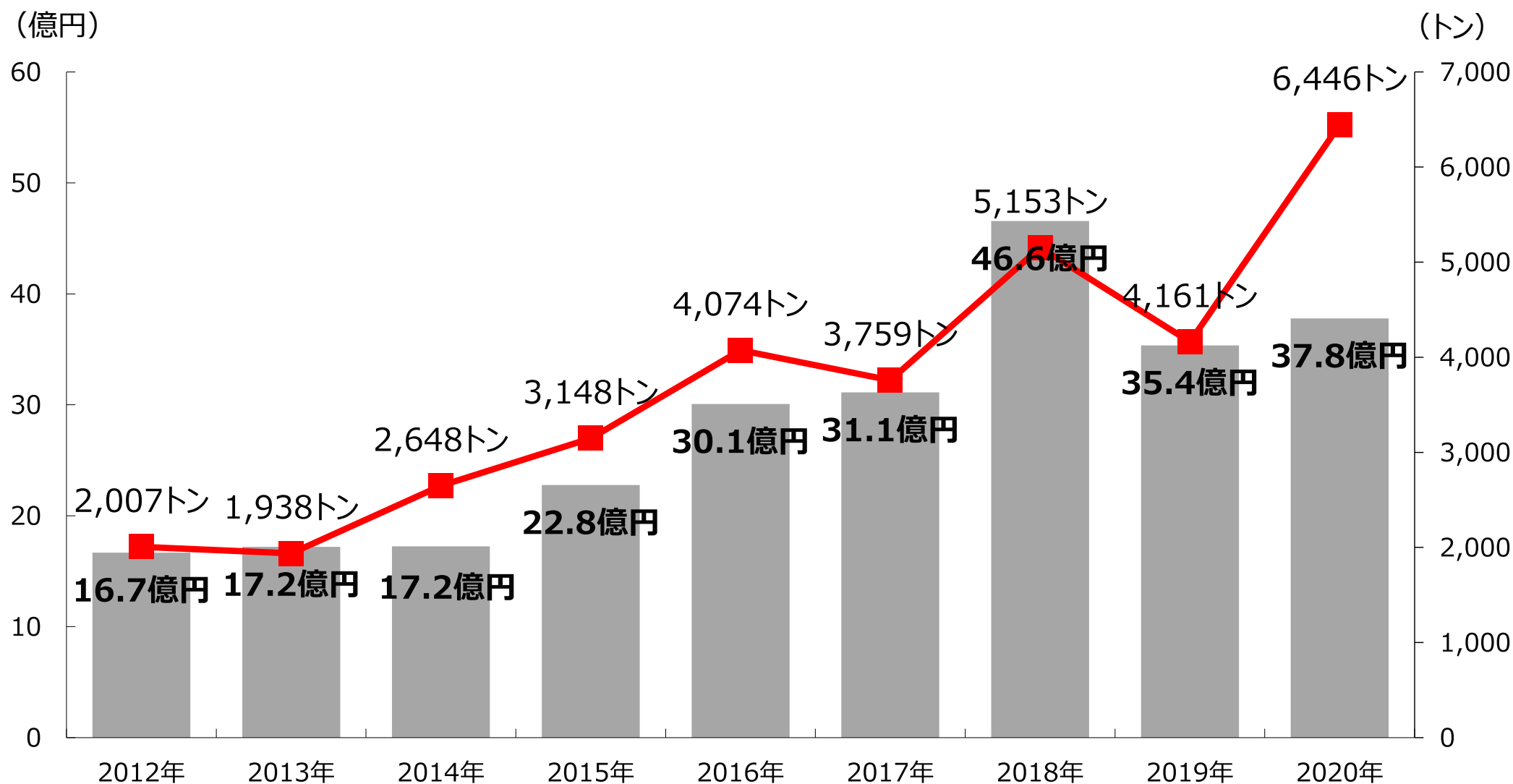
主な輸出先は、加工用原料として輸入している東南アジア。
2020年は、2019年の不漁により国内の冷凍在庫も少なく、さらに2020年の漁期も漁獲量が伸びなかったことから主に国内向けに流通し、輸出額が減少。

	国 名	輸出額（量）	輸出額 前年比	輸出額 構成比
1	ベトナム	20.8億円（5,654トン）	▲4.2%	52.8%
2	タイ	8.8億円（2,230トン）	▲20.9%	22.3%
3	中華人民共和国	6.8億円（1,756トン）	▲2.5%	17.3%
4	インドネシア	1.8億円（585トン）	99.8%	4.6%
5	台湾	0.7億円（71トン）	▲18.0%	1.8%
-	その他	0.5億円（32トン）	▲35.1%	1.1%
-	世界	39.4億円（10,329トン）	▲6.9%	100.0%

注：四捨五入の関係で内訳の計と合計が一致しないことがある。EUの数値については外数。

財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

たいの輸出実績（2012～2020年）



財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

たいの国・地域別内訳 2020年



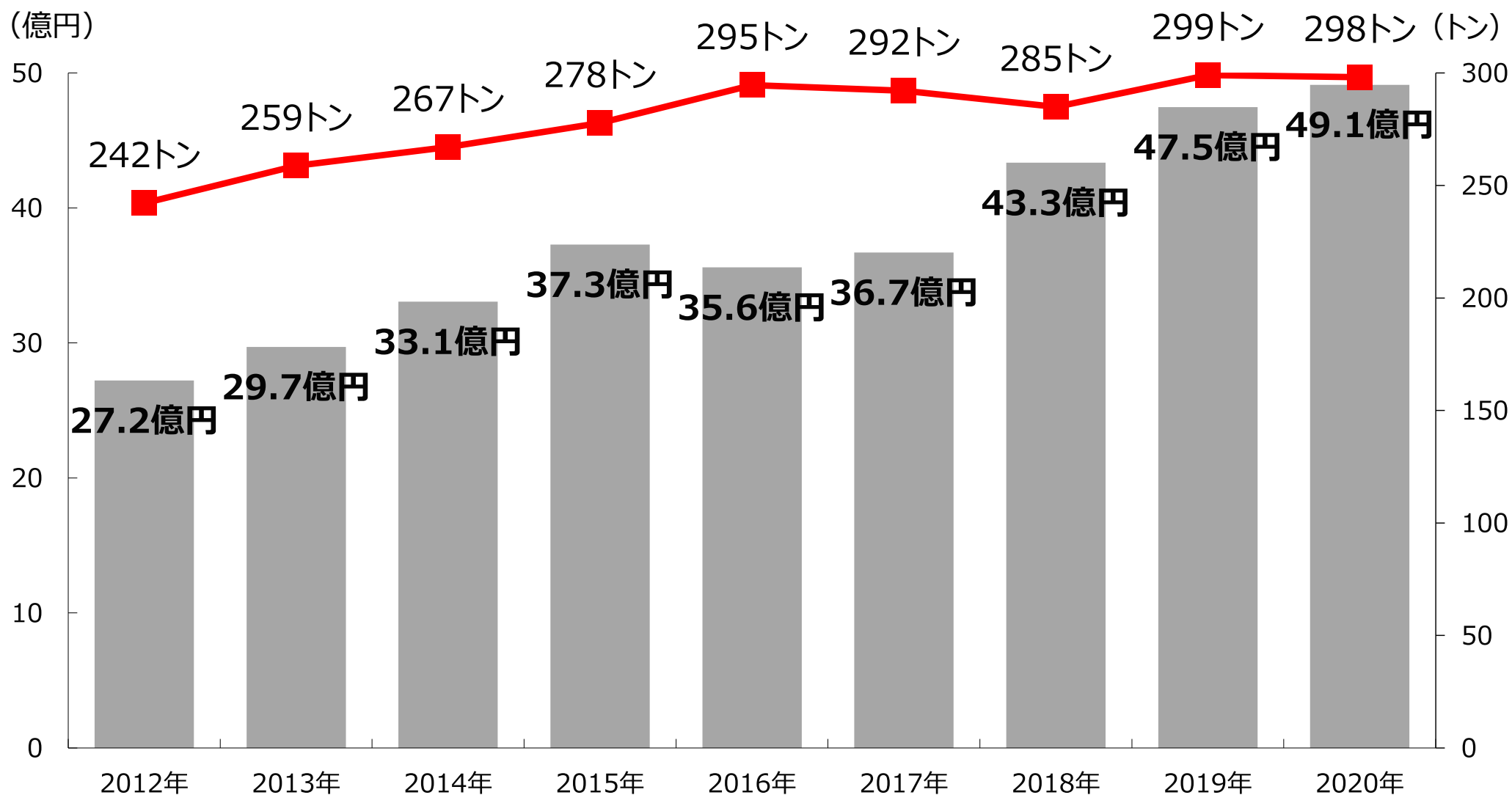
主な輸出先は、現地消費向けに活魚での輸出が多い韓国。
2020年は、新型コロナウイルス感染症の影響により国内の需要が減退し浜値が下落したため輸出単価も下落した。一方、安価となったことから韓国向けに大量に輸出されたことにより輸出額は増加。

	国 名	輸出額（量）	輸出額 前年比	輸出額 構成比
1	大韓民国	22.6億円（4,146トン）	▲1.2%	59.7%
2	中華人民共和国	3.9億円（639トン）	278.6%	10.3%
3	台湾	3.6億円（382トン）	10.7%	9.5%
4	タイ	2.8億円（709トン）	162.2%	7.4%
5	アメリカ合衆国	2.2億円（153トン）	▲54.9%	5.8%
-	その他	2.7億円（417トン）	18.5%	7.2%
-	世界	37.8億円（6,446トン）	6.9%	100.0%

注：四捨五入の関係で内訳の計と合計が一致しないことがある。EUの数値については外数。

財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

観賞用魚（金魚除く）の輸出実績（2012～2020年）



財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

観賞用魚の国・地域別内訳 2020年

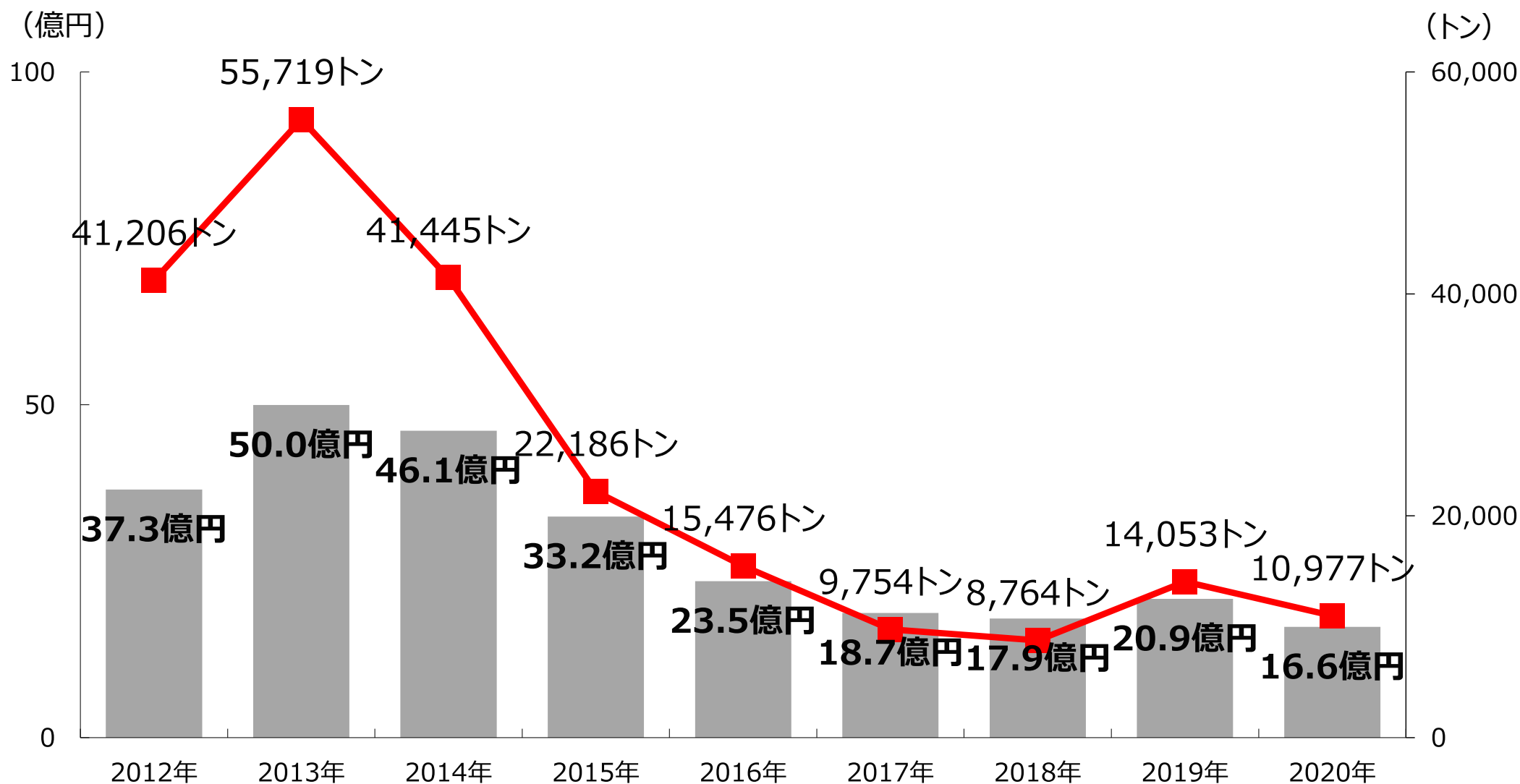
主な輸出先は、富裕層を中心に需要のあるアジアや欧米諸国であり、大宗が錦鯉。
2020年は、新型コロナウイルス感染症の影響により品評会の中止やバイヤーの来日が困難になるなどの影響があったが、各取扱業者の積極的な輸出により、輸出額が増加。

	国 名	輸出額（量）	輸出額 前年比	輸出額 構成比
1	香港	6.8億円（23トン）	▲3.4%	13.8%
2	アメリカ合衆国	5.5億円（26トン）	34.1%	11.2%
3	中華人民共和国	4.6億円（15トン）	66.7%	9.4%
4	ドイツ	4.4億円（29トン）	3.3%	9.0%
5	オランダ	4.3億円（55トン）	▲29.8%	8.8%
-	その他	23.5億円（152トン）	1.5%	47.9%
参考	E U（28国）	13.4億円（121トン）	▲7.7%	27.2%
-	世界	49.1億円（298トン）	3.5%	100.0%

注：四捨五入の関係で内訳の計と合計が一致しないことがある。EUの数値については外数。

財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

すけとうたらの輸出実績（2012～2020年）



財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

すけとうたらの国・地域別内訳 2020年



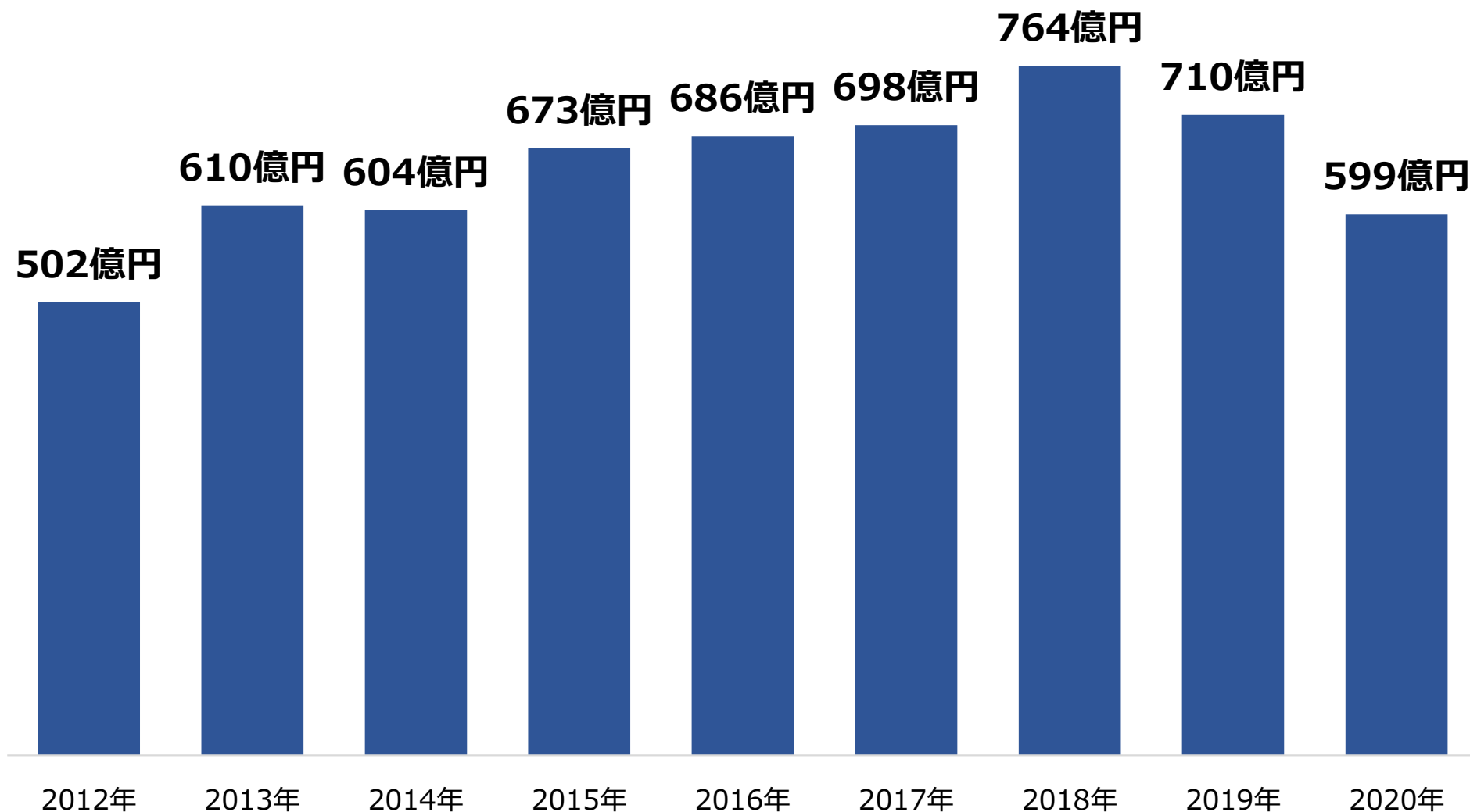
主な輸出先は、現地消費向けに生鮮の需要のある韓国と、加工用原料として輸入している中国。
2020年は、韓国向けは新型コロナウイルス感染症の影響で需要が落ち込み輸出額が減少。中国向けは、2019年は米中貿易摩擦により中国の米国産冷凍すけとうだらの輸入が減少し、代替品需要で日本からの輸出が伸長していたため、対前年比では輸出額は減少。

	国 名	輸出額（量）	輸出額 前年比	輸出額 構成比
1	中華人民共和国	8.1億円（8,408トン）	▲26.5%	48.6%
2	大韓民国	6.1億円（1,696トン）	▲13.2%	36.5%
3	ロシア	1.8億円（490トン）	2.4%	10.7%
4	ベトナム	0.6億円（304トン）	▲9.3%	3.4%
5	タイ	0.1億円（29トン）	▲60.1%	0.4%
-	その他	0.1億円（50トン）	▲82.0%	0.4%
-	世界	16.6億円（10,977トン）	▲20.3%	100.0%

注：四捨五入の関係で内訳の計と合計が一致しないことがある。EUの数値については外数。

財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

水産物調製品の輸出額の推移



財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

水産調製品の内訳

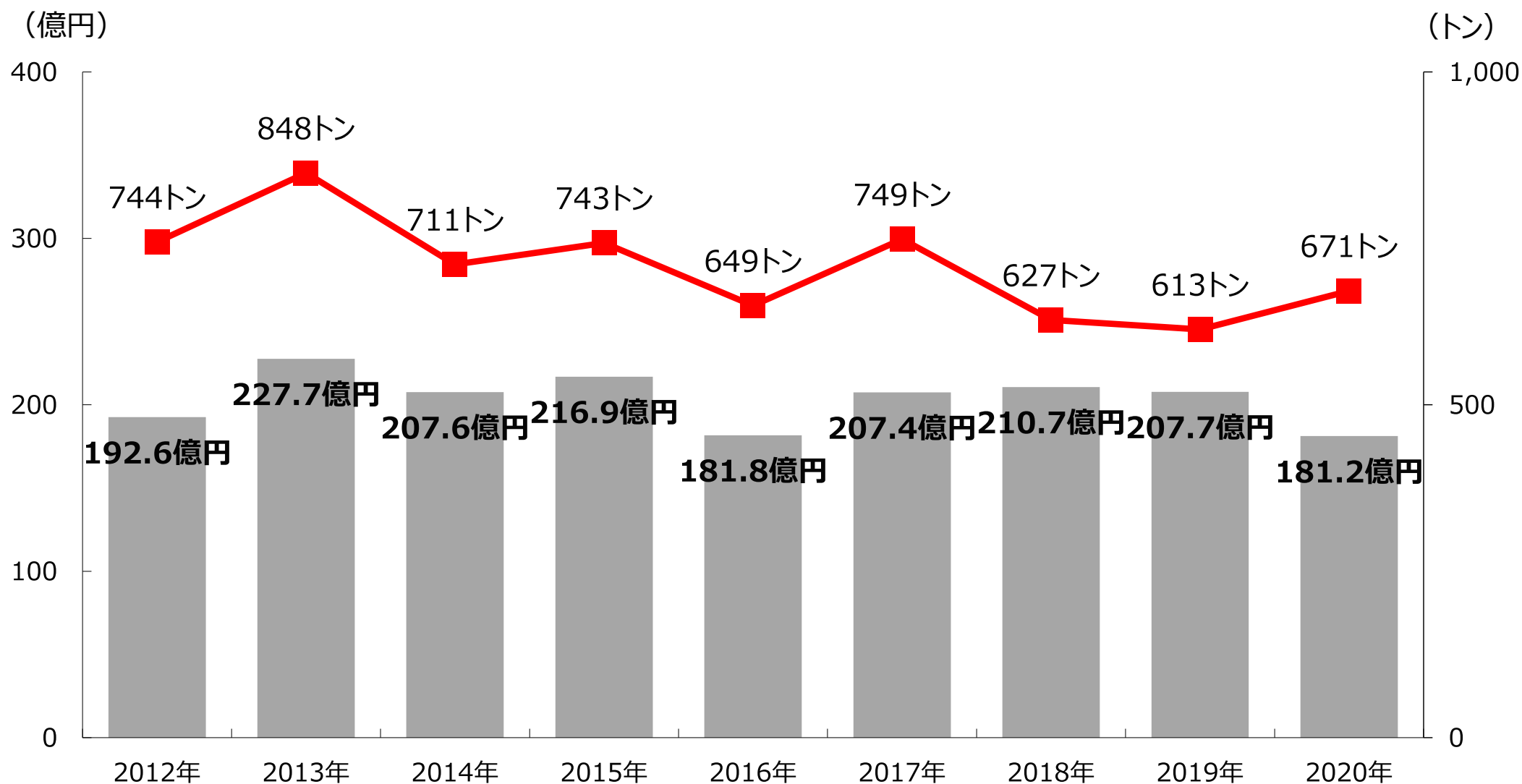


品目名	2019年	2020年	前年比	構成比
なまこ（調製）	208億円	181億円	▲ 12.8%	30.2%
練り製品	112億円	104億円	▲ 7.0%	17.3%
貝柱（調製品）	80億円	72億円	▲ 10.4%	11.9%
ホタテ貝（調製品）	76億円	46億円	▲ 38.6%	7.7%
キャビア及びその代用品	43億円	39億円	▲ 9.7%	6.5%
魚等缶詰	22億円	21億円	▲ 3.7%	3.5%
たこ調製品	16億円	13億円	▲ 20.5%	2.1%
いか調製品	13億円	12億円	▲ 6.2%	2.1%
真珠	23億円	8億円	▲ 63.5%	1.4%
その他	118億円	103億円	▲ 12.4%	17.2%
水産物調製品 計	710億円	599億円	▲ 15.5%	100.0%

注：四捨五入の関係で内訳の計と合計が一致しないことがある。

財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

なまこ（調製）の輸出実績（2012～2020年）



財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

なまこ（調製）の国・地域別内訳 2020年



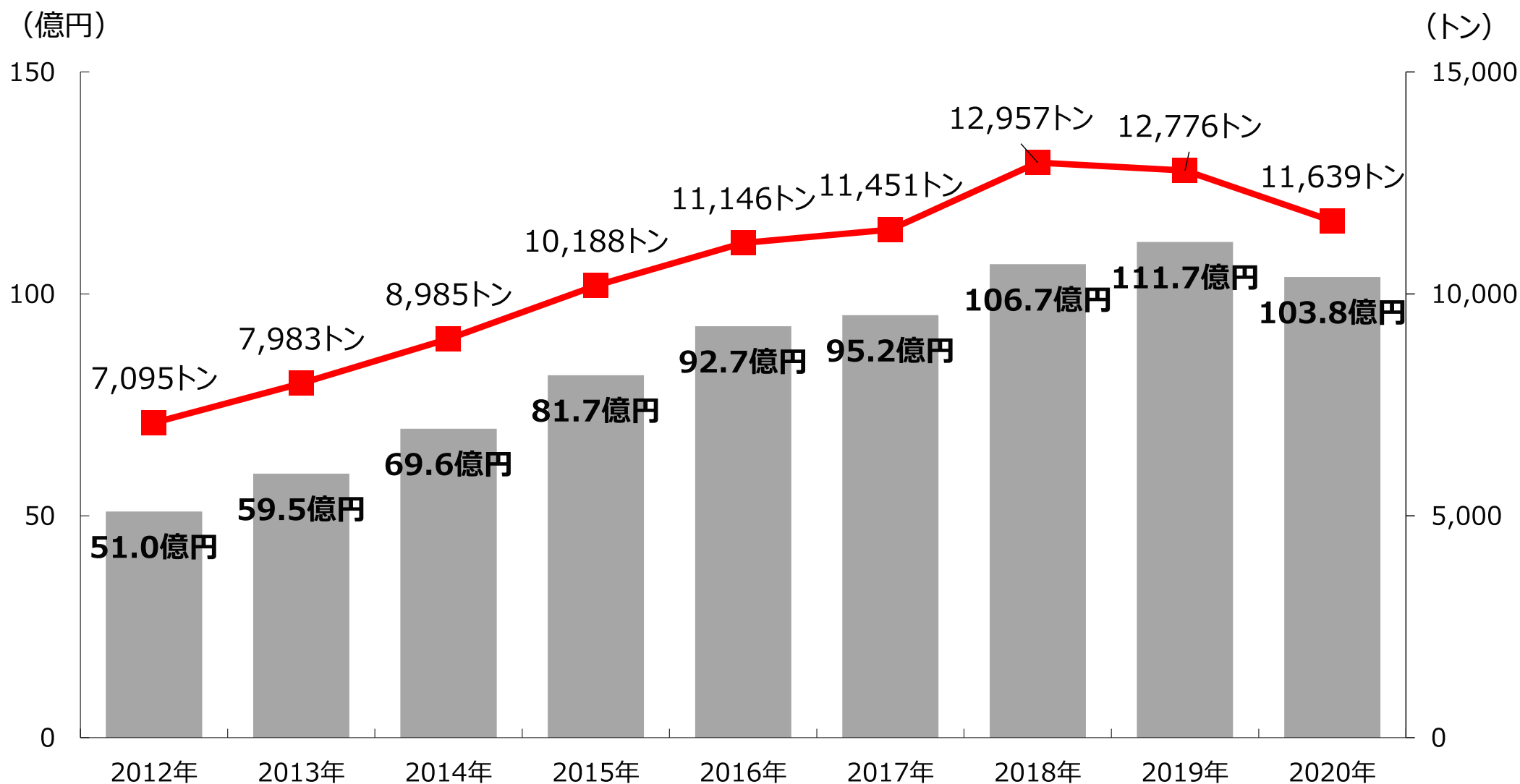
主な輸出先は、高級食材である干なまこの消費・流通の中心となっている香港。
2020年は、2019年以降継続している香港の情勢不安の影響や新型コロナウイルス感染症の影響による香港・中国の外出需要の減退を受け輸出額が減少。台湾向けには、これまで香港を経由して流通していたものの一部が我が国から直接輸出されるようになっている。

	国 名	輸出額（量）	輸出額 前年比	輸出額 構成比
1	香港	154.0億円（487トン）	▲17.4%	85.0%
2	台湾	14.5億円（56トン）	1725.2%	8.0%
3	中華人民共和国	9.5億円（110トン）	▲43.7%	5.2%
4	シンガポール	2.4億円（15トン）	▲6.0%	1.3%
5	大韓民国	0.5億円（2トン）	23.6%	0.3%
-	その他	0.2億円（0トン）	▲66.3%	0.1%
-	世界	181.2億円（671トン）	▲12.8%	100.0%

注：四捨五入の関係で内訳の計と合計が一致しないことがある。EUの数値については外数。

財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

練り製品の輸出実績（2012～2020年）



財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

練り製品の国・地域別内訳 2020年

主な輸出先は、米国や香港、中国。

2020年は、中国向けはECの拡大などにより輸出額が増加した一方、米国や香港向けは新型コロナウイルス感染症の影響による消費減退により輸出額が減少。

	国 名	輸出額（量）	輸出額 前年比	輸出額 構成比
1	アメリカ合衆国	31.1億円（3,265トン）	▲17.6%	29.9%
2	香港	26.6億円（3,367トン）	▲8.6%	25.6%
3	中華人民共和国	22.3億円（2,186トン）	14.3%	21.4%
4	台湾	7.4億円（936トン）	2.0%	7.1%
5	大韓民国	2.8億円（519トン）	▲8.3%	2.7%
-	その他	13.6億円（1,367トン）	▲9.3%	13.1%
参考	E U（28国）	2.0億円（214トン）	29.4%	2.0%
-	世界	103.8億円（11,639トン）	▲7.0%	100.0%

注：四捨五入の関係で内訳の計と合計が一致しないことがある。EUの数値については外数。

財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成